

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

# 吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

2 期連続 1 位 (6 期目)

## 町田の学童保育は満杯

学童保育クラブと言うのは小学校の低学年児（3年生まで）が、授業後や土曜日に過ごす施設のことですが、国はそれを高学年児（4-6年生）の全学年児まで拡大することにしています。子ども施策としては時代に添ったものであり、促進されるべき施策でしょう。ですが、元来、多数の小学校において児童数が決して少なくない町田市にとって、この問題は突然大変な問題になっています。

なぜかと言うと、学童保育クラブの必要施設の定数に余裕はなく、町田市では多くの施設で低学年児の対象児童で一杯となっているからです。そこで、それを倍の大きさに拡大するか、新たに同規模のものを建設するかを図る必要があります。しかし、現実の学童保育クラブの多くは学校敷地内にあるため、それを倍加したり、新設をするのは容易ではありません。つまり、全国で発生している「空き教室」は町田市では逆の状態になっているわけです。今後、この新たな国の施策にそった財政措置と対応が必要になりますが、時間がかかると思います。

（裏面記事写真＝タケシのTVタックルにゲスト出演。なぜか、収録前日に突然の出演依頼）



## 施設行事にボランティア参加

町田市金森にある高齢者施設の合掌苑で行われた「夕涼み浴衣祭り」に吉田つとむ議員と、私と同じくインターン生の渡辺 慧さんと一緒に参加しました。合掌苑の方々だけでなく、地元の方もたくさん来ていただいてとても賑やかなお祭りでした。露店には、焼きそばやおでん、焼き鳥などの食べ物だけでなく、スーパーボールすくいやヨーヨー釣り、ストラックアウトなど子どもたちが喜ぶゲームもありました。そのため合掌苑内の露店が出ている通路は、地元の方や地域の子もたちで常に賑わっていました。地域の自治体の方や合掌苑の職員さん、地域の高校のボランティアの高校生と一緒に私もささやかながらお手伝いをさせていただきました。実際に参加してみて、このようなお祭りで老人ホームの皆さんと地域の方々の繋がりが出来るのはとても素晴らしいことだと思いました。



（全部を完売して記念写真を撮りました）

昭和女子大3年生 志村 雪菜

（吉田つとむ 第34期生）

★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E 103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

# 吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム

携帯QRコード  
でブログ閲覧

## 研修生レポート ③ 渡邊 慧

先日、8月4日(月)夜放送の1時間番組、「タケシのTV タックル」(テレビ朝日)に吉田議員が出演しました。政務活動費の不正使用疑惑、暴行事件、危険ドラッグの使用など相次いで起きている地方議員の不幸事を受けて、地方議員代表としての出演でした。この放送を見て、実際に吉田議員から話しを聞いて、感じたことについて2つの点に焦点を当てて書いていきたいと思ひます。

まずは、政務活動費についてです。話題になった野々村元県議の、城崎温泉等に年200回訪れたことや、切手代で100万円以上を使用したことを受けて、政務活動費のチェックが緩いと感じている方は多いのではないのでしょうか。しかし、それを一般化してしまうべきではないと思ひます。たとえば、町田市の政務活動費は月6万で年間72万円、会津若松市議は月3.5万円で年間42万円です。上で挙げた城崎温泉等や切手代について考えてみましょう。城崎温泉等を訪れる費用を1回5000円と計算しても年間で100万円、それに切手代100万円をプラスして計200万円となります。この2つの件に関してのみでも、会津若松市議や町田市議の政務活動費を優に超えてしまうのです。このことから考えて、各自自治体によって問題は異なることがわかります。また、町田市議の場合は、その視察調査に対する所見を書くことが義務付けられているため、それを事務局の人がチェックし、市民の方々も見られるようになっていっています。このように、政務活動費の不正を防ぐためには、視察・調査等から何を学んだのか、どのような

成果を上げたのか等を明確にすること、公開することが重要なのではないのでしょうか。

次に、地方議員選挙制度の問題についてです。都道府県や政令都市の議員選挙の選挙期間は9日間、市議会議員選挙の期間は7日間と大変短く、その中で候補者の人柄や政策を知ることは困難です。誰を選べばいいのかわからないため、「選挙の戦略」を持つ人が当選してしまうということもあります。しかし、これは選挙のシステムそのものに問題があるようです。番組中の、地方議員は選挙期間中にビラを撒くことが許されていないという吉田議員の発言にはとても驚きました。おそらくこの事実を知っている人は少ないでしょう。これでは、選挙中候補者は自分の考えや政策等を有権者に示す方法がありません。候補者がどのような政策を考えているのか、その内容を有権者が判断し、投票できるようにする必要があります。吉田議員はこれに関して国会に2度市議会としての意見書を提出していますが、通ることはなかったそうです。この放送を機に、この問題について議論される機会が多くなることを期待したいです。

この2つの問題に関して共通していることは、情報を明確に公開することの重要性だと思います。議員の政策や活動について知ってもらうこと、これらが不正を予防する対策になり得ます。何より、メディアによって取り上げられた不幸事ばかりに注目してしまい、まじめに活動している地方議員のことまでも一緒にたたかれてしまわないことを、願ってやみません。

フェリス女学院大学3年生 渡邊 慧(さとい)  
(吉田つとむ 第34期研修生)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com) mobile: [yoshidaben@docomo.ne.jp](mailto:yoshidaben@docomo.ne.jp)